

音楽（器楽）

教育出版

教育芸術社

令和6年度

中高・飯水地区中学校教科用図書採択研究協議会

種目（音楽 器楽）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">教育出版（中学器楽 音楽のおくりもの）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・奏法や運指が詳細な写真や動画で示され、音楽表現をするために必要な知識、技能が身に付くよう工夫がなされている。 ・教材の活動のポイントが分かりやすく記載されており、仲間と共同的に音楽的な見方・考え方を働かせて学べるような工夫がなされている。 ・色々な編成での合奏教材が掲載されており、生徒が主体的に取り組めるよう工夫がなされている。
<p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト、レイアウト等</p> </div>	<p>(1) 初心者から上級者まで楽器を楽しんで演奏できる楽曲や題材が配列され、興味をもって学習が進められるよう工夫がなされている。</p> <p>(2) 演奏に必要な技能を学ぶことができる教材が最初に配列され、基本的な技能が習得できるよう工夫がなされている。</p> <p>(3) 鑑賞で比較をして、楽器や音の特徴を調べて共通点や相違点を話し合うページが設けられ、主体的に学習できるよう工夫がなされている。</p> <p>(4) 「深めてみよう」のコーナーでは、鑑賞と合わせた表現や各楽器の色々な奏法の体験等、多様な音楽活動ができるよう工夫がなされている。</p> <p>(5) 背景のイラストや写真が曲のイメージに沿って色の濃淡やサイズが的確に処理され、曲のイメージが膨らむよう工夫がなされている。</p> <p>(6) ユニバーサルデザインフォントの使用により、見やすくなるよう工夫がなされている。</p>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<p>(1) 奏法や運指等の写真や演奏動画を使って無理なくやさしい曲を練習した後、「Let's Play」「Let's try」では、幅広いジャンルから合奏教材を選択できるよう工夫がなされている。</p> <p>(2) 曲が幅広いジャンルの中から精選されており、生徒が多様な音楽に親しめるよう工夫がなされている。</p> <p>(3) 「弾く楽器の仲間たち」「吹く楽器の仲間たち」のページでは、日本や世界の楽器の特徴について調べたり比較したりし、学習を深めることができるよう工夫がなされている。</p> <p>(4) ギターのコード表は写真入りで視覚的に示されており、和楽器は縦譜面と横譜面の両方が示され、活動に応じて利用できるよう工夫がなされている。</p> <p>(5) 世界の楽器の写真が多く掲載され、豊かに音楽文化に関わることができるよう工夫がなされている。</p> <p>(6) 各題材の最後にある「まとめの曲」において、学習のポイントを評価の観点として自己評価しながら演奏し、学習のまとめができるよう工夫がなされている。</p>
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしい技術で楽器のおもしろさを体感できる楽曲で技能を身につけた後、発展した内容を多角的な視点で学び、生徒が「音楽的な見方・考え方」を働かせて活動できるよう工夫がなされている。 ・創作や鑑賞の学習と関連付けたり、日本と世界の楽器等を比較したりできる構成になっており、生徒の対話的な学びや深い学びができるよう工夫がなされている。

種目（音楽 器楽）

<p>発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>教育芸術社（中学生の器楽）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各楽器の奏法や運指等が詳細に示され、音楽表現をするために必要な技能を段階的に身に付けられるよう配慮がなされている。 ・教材ごとに、具体的な学習目標や学習活動例が記載されていて、主体的・創造的に学習を進められるよう工夫がなされている。 ・楽器ごと様々なレベルに応じた曲が記載されていたり、楽器の種類や奏法、鑑賞曲等が多面的に紹介されていたりするので、生徒が興味を持って学習に取り組めるよう工夫がなされている。
<p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト、レイアウト等</p> </div>	<p>(1) 初心者でも演奏できる曲が掲載されているため、発達段階に応じて少しずつ技能を高めていけるよう配慮がなされている。</p> <p>(2) 生徒が初めて取り組む楽器においても、いつでも奏法が確認できるよう、教科書に二次元コードがたくさん用意されている。</p> <p>(3) 学習目標を達成するための具体的なアドバイス等が示され、主体的・創造的に活動が進められるよう工夫がなされている。</p> <p>(4) 楽器ごとに様々な演奏形態の写真が提示されていたり、創作の学習が設定されていたりと鑑賞と表現を一体化させながら多様な音楽活動ができるように工夫がなされている。</p> <p>(5) 誰にでも見やすい配色にしたり、ユニバーサルデザインフォントを使用したりすることで可読性、可視性を高められるよう配慮がなされている。</p>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<p>(1) 楽器の持ち方や姿勢、音の出し方、チューニングの仕方等を丁寧に記載し、徐々に曲の難易度が上がるように教材が配列されていて、無理なく系統的に学んでいけるよう配慮がなされている。</p> <p>(2) 過去に学んだ作品を楽器で演奏できるように楽譜が示されているので、既習の学びを生かせるよう工夫がなされている。</p> <p>(3) 巻末に「アンサンブル」のページがあり、発展的な教材が用意されているので、各楽器の基礎・基本を学んだ後に「音楽的な見方・考え方」を働かせながらさらに技能や表現を深めることができるよう工夫がなされている。</p> <p>(4) 楽器や教材について理解やイメージを深められるよう、二次元コードを配置し、個に応じて弾力的に学習を進めていけるよう配慮がなされている。</p> <p>(5) 各楽器の特徴や奏法等が写真や図で説明されているので、生徒がイメージを持ちながら練習に取り組めるよう工夫がなされている。</p> <p>(6) 学習目標や演奏や練習のポイント等が記載されているので自己評価をしながら学習できるよう工夫がなされている。</p>
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を記載することで、「音楽的な見方・考え方」を働かせて活動できるよう工夫がなされている。 ・演奏家のメッセージや実際に演奏している写真を掲載し、楽器に興味を持ったり、生活や社会における音楽の役割を意識したりしながら学習できるよう工夫がなされている。